

改善を要請した事業のフォローアップ(改善事例紹介)

- ▶ 平成28年度に改善を要請した79事業について、各府省等がそれぞれ改善措置を講じたところ、16の事業で複数応札の実現や落札率の低下等、競争性が改善する結果となった。
- ▶ 上記の事例について各府省等に対して、ホームページで周知することとする。

主な取組例

【事業の分割、業務範囲の見直し】

● 働き方・休み方改革推進事業【厚生労働省】

- ・業務が多岐にわたっていたことが新規事業者の参入障壁の要因になっていたと分析し、平成29年度から①広報事業（事例収集、シンポジウムの開催等）と②ポータルサイトの運営事業に2分割して実施

● フィリピン人看護師候補者への日本語研修【経済産業省】

- ・平成28年度まで「フィリピン人看護師候補者への日本語研修」と「フィリピン人介護福祉士候補者への日本語研修」を分けて公募していたが、新規参入者が応札しやすいように業務の包括化を行い、平成29年度より「フィリピン人看護師・介護福祉士候補者への日本語研修」に統合
- ・入札公告時期を前倒しし、入札説明会から提案書の提出までの期間を延長するとともに、準備・引継期間を延長

【公告期間・引継期間の見直し】

● 帰還困難区域等に設置するバリケードの維持管理業務【復興庁】

- ・入札公告時期を20日程度前倒し
- ・入札説明会を2回実施（前年は1回のみ）
- ・入札参加資格を、A等級から、A又はB等級へ拡大
- ・共同事業体による入札参加を認めることとした

【事業者への周知、入札説明会の実施】

● 日中韓子ども童話交流事業【文部科学省（国立青少年教育振興機構）】

- ・入札説明会を実施するとともに、現場説明会を実施
- ・入札公告日を前倒しして提案書作成期間を延長

● D.Waste-Net（災害廃棄物処理支援ネットワーク）を活用した災害廃棄物対策の強化促進業務【環境省】

- ・平成29年度から入札説明会を実施
- ・入札公告日を前倒しして提案書作成期間を延長
- ・入札参加資格を、A又はB等級から、A、B又はC等級へ拡大

【仕様書の記載を充実化】

● 我が国循環産業の国際展開促進に向けた実現可能性調査等統括業務【環境省】

- ・評価項目を具体的に記載して評価の趣旨を理解しやすいようにしたことに加えて、「組織の実績」に関する配点を下げて新規事業者が参入しやすいようにした。

● 旅行・観光消費動向調査【国土交通省（観光庁）】

- ・施設・研修等分科会ヒアリングにおける指摘を踏まえて仕様書を見直した。具体的には、回答数・回収率、問合せ件数等の情報開示の充実化のほか、オンライン調査による作業内容の明確化や回収率が高い場合の謝金の負担方法を記載した。
- ・入札参加要件のうち「過去5年以内に国的一般統計調査に関する業務を受託した経験があること」を削除

【総合評価落札方式の導入】

● 国立劇場及び国立能楽堂構内清掃業務【文部科学省】

- ・最低価格落札方式から総合評価落札方式へと入札方式を変更
- ・複数の事業者に対し入札参加の呼びかけ